

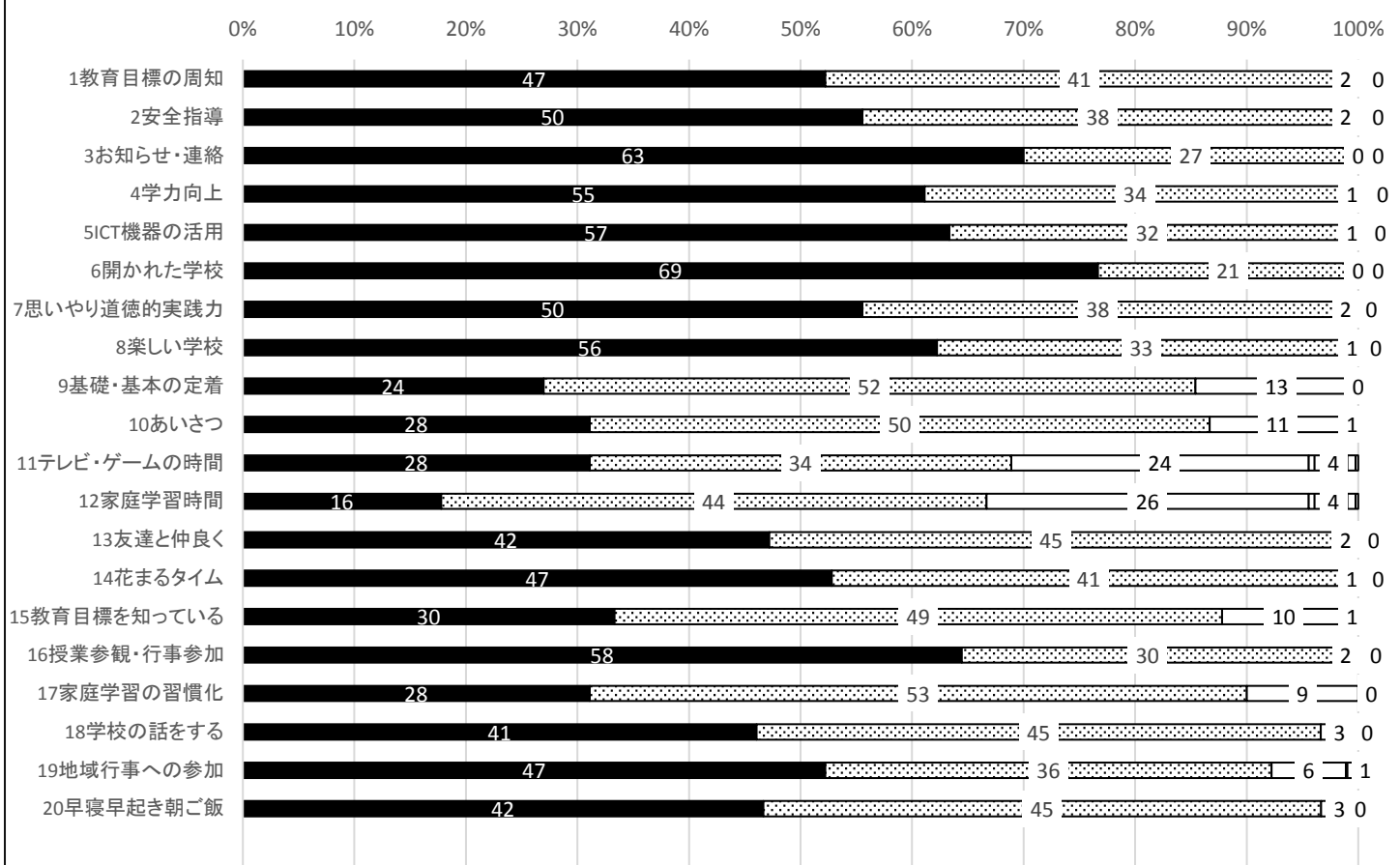


武雄市立東川登小学校
平成30年10月31日

30年度も7ヶ月が過ぎました。子どもたちは大きなけがや病気もなく、元気に過ごすことができいております。保護者の皆様、地域の皆様のご協力のおかげと感謝いたしております。本当に、ありがとうございます。

さて、9月末に、保護者の皆様対象に、学校評価の前期アンケートを実施いたしました。ご協力、ありがとうございました。全体集計結果を下のようにグラフ化いたしました(アンケート回収率98.9%)。「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせた数値が90%に満たなかった設問について、裏面に分析を行っておりますので、ご覧ください。

H30学校評価(前期)保護者用集計結果



※数字は人数を表しています。

- 1～7 学校・学校経営に関すること
- 8～14 子どもさんに関すること
- 15～20 保護者自身に関すること

- …よくあてはまる
- ▤ …だいたいあてはまる
- …あまりあてはまらない
- ▨ …全くあてはまらない

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせた数値が90%に満たなかった項目について

『9 基礎・基本の定着』につきましては、「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせた数値が85.4%でした。本年度は、家庭での予習を効果的に取り入れた授業の工夫や家庭学習の充実を通して学力向上に取り組んでいます。それに関連して、『12 家庭学習を決まった時間行っている』は、「よくあてはまる」と「だいたいあてはまる」を合わせた数値が66.7%と、不十分でした。家庭学習の充実が基礎・基本の定着をはじめとした学力向上のためには必要不可欠です。「学力向上だより」等を通じて家庭学習充実のための具体的な取り組みをお伝えしていきます。まずは、家庭での学習時間を最低でも各学年の目標時間、確保できるようにするところからです。ご家庭でも、家庭で学習する子供達の様子を見ていただき声かけをしていただければと思います。

『11 テレビやゲームの時間90分以内』につきましては、68.9%と、目標達成できていませんでした。家庭での学習時間や就寝時間に影響を与えているのではないかと考えられます。本校の課題です。学力向上につながる家庭学習時間の確保、習慣化のためには、家庭でのテレビやゲーム、SNSの時間など生活習慣の改善に取り組んでいく必要があると考えます。

『15 学校の教育目標を知っている』については、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が87.8%でした。東川登小学校の学校教育目標は、

生き抜く力の育成

- ①やさしく…思いやりと感謝の心で、誰とでも仲良くできる子ども
- ②かしこく…学び方を身につけ、自ら学ぶ子ども
- ③たくましく…粘り強くやり通す子ども

学校、保護者、地域一体となって、これから先の変化の激しい社会を「生き抜く力」を身につけた「やさしい かしこい たくましい」子どもに育てていきたいと考えております。今後ともご協力、よろしくお願いいたします。

『10 よくあいさつをしている』については、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が86.7%でした。9月末から、あいさつのポイント「立ち止まって」「自分から」「大きな声で」を合い言葉に、あいさつのレベルアップに取り組んでいます。あいさつの上手な子は、全校放送で紹介するなどしています。進んであいさつをする子が増えています。今後も気持ちの良いあいさつができたときは、ほめながら定着させていきたいと考えています。子供達が上手なあいさつができたときには、保護者や地域の方々にもたくさんほめていただければと思います。

★ ご意見に対する回答、方策等

○ 開かれた学校の安全対策について

不審者侵入等の対策として、9月から4台の防犯カメラで出入り口や運動場を監視しています。毎月の会議等で危機管理委員会を開催するなど、教職員一同、高い危機管理意識をもち子供達の安全確保に努めているところです。

○ 登校班について

登校班の班編制につきましては、集団で登校することによる子供達の安全を第一に考えて編成しています。集団行動におけるマナーや思いやりなども指導していきます。気になることがありましたら遠慮なくご相談ください。